

和歌山県の地震

令和6年5月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
概況	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 4

2. 地震一口メモ

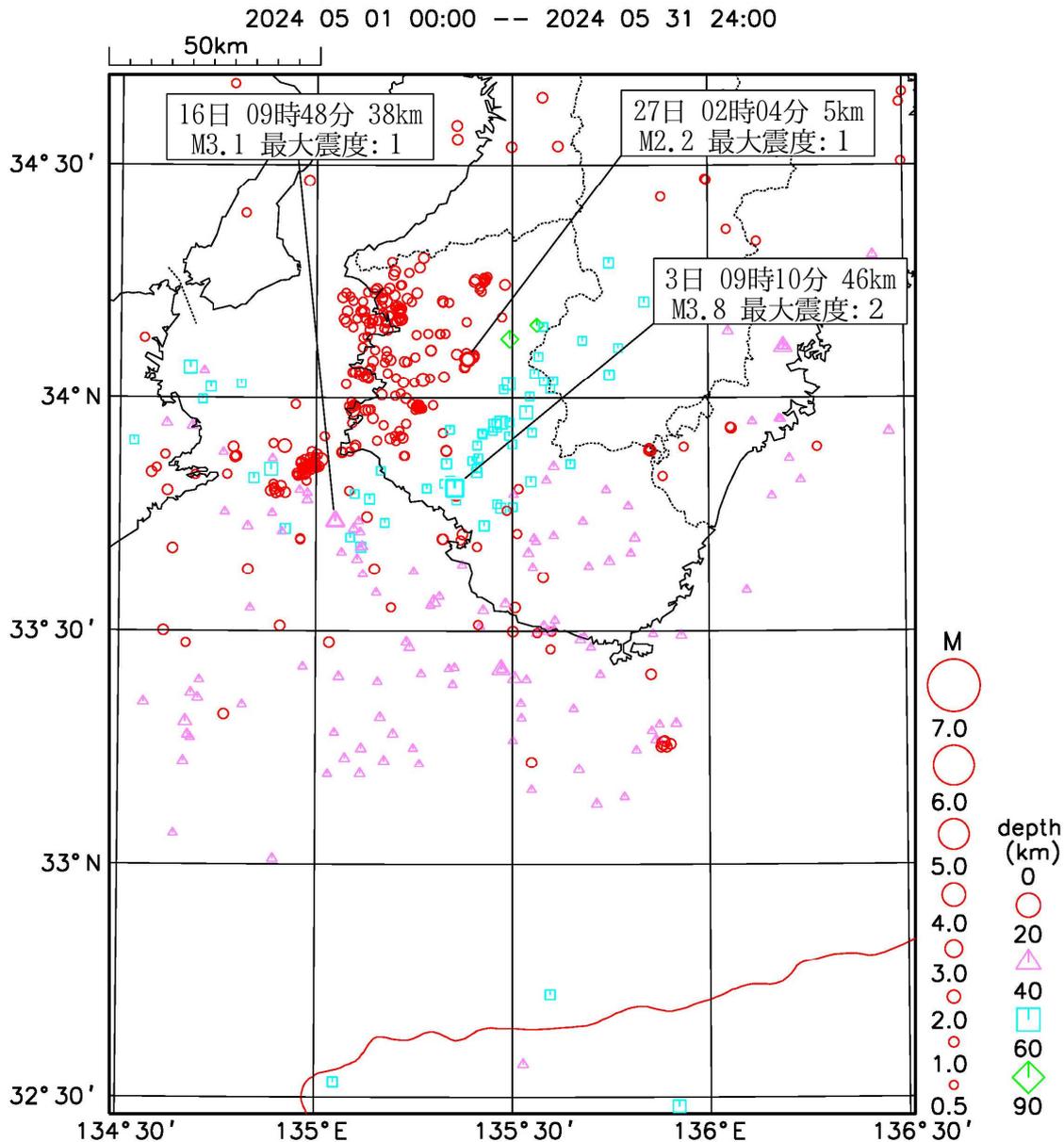
津波避難	・・・・・・・・ 5
------	------------

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

【震央分布図】

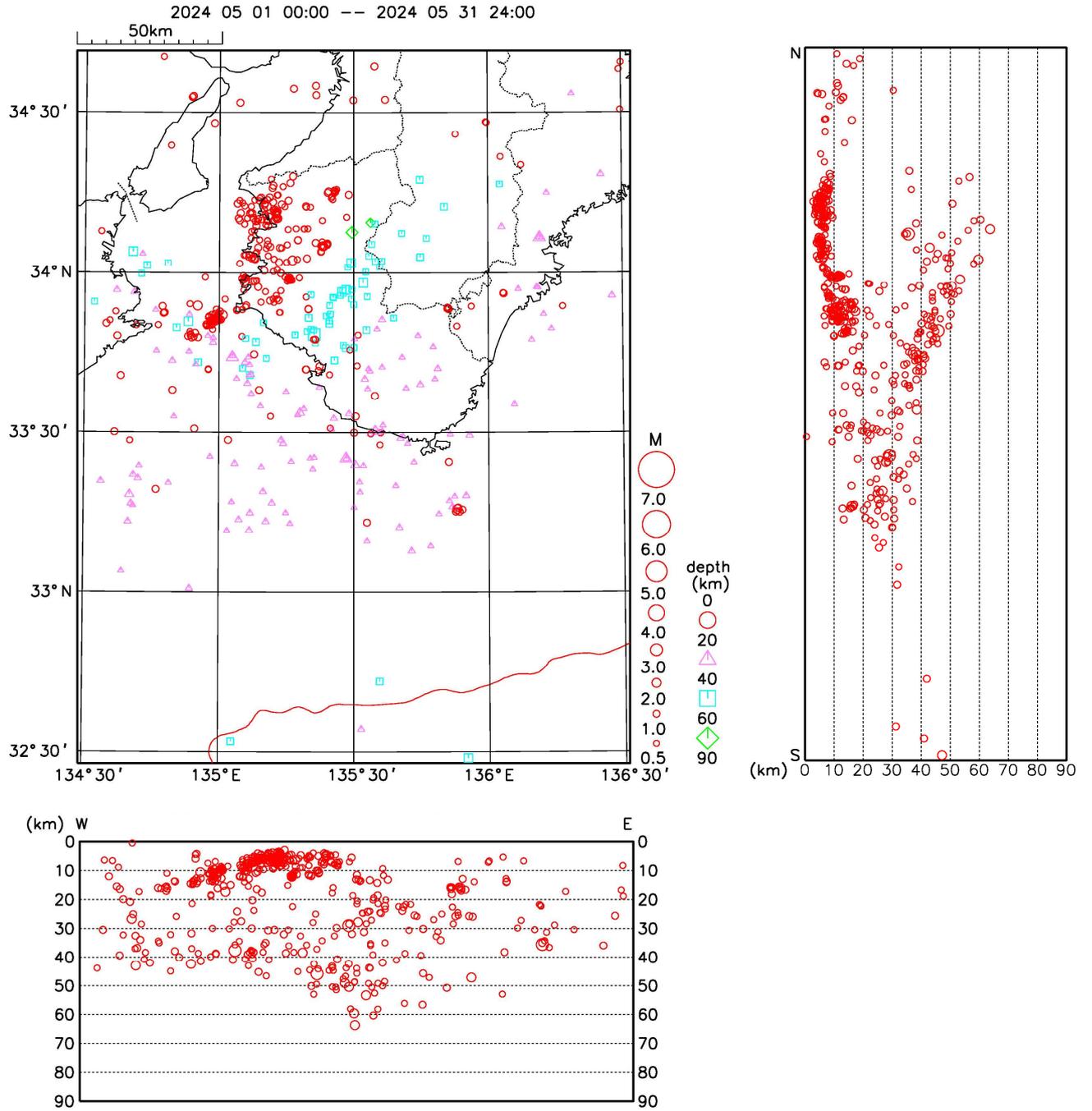


震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。
シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を、シンボルマークの形と色で震源の深さを表しています。また、赤線は海溝軸（南海トラフ）の位置です。
図中の吹き出しは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しており、日時、深さ、マグニチュード、最大震度を記載しています（最大震度は、和歌山県内とは限りません）。

【概況】

5月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は22回（前月は22回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、3日09時10分の和歌山県北部の地震（深さ46km、M3.8）でした。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。
5月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、3回（前月6回）でした。

【断面图】



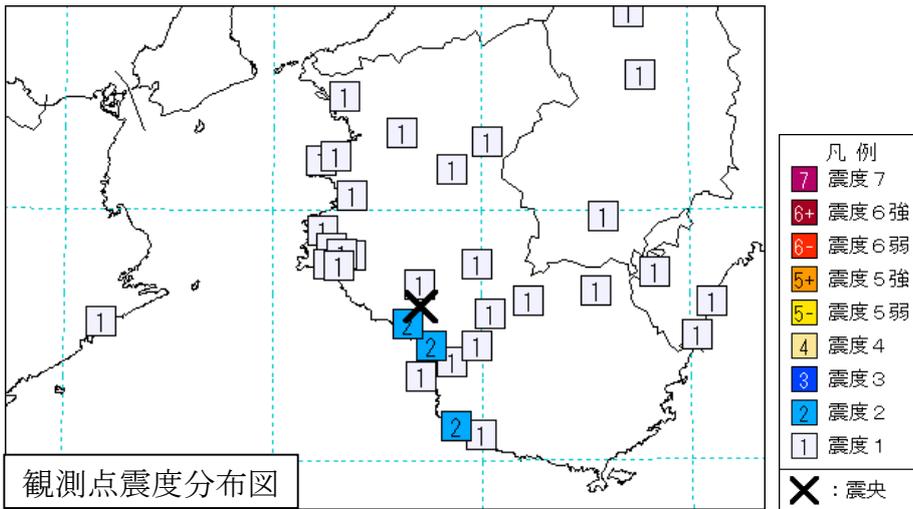
【 和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧 】

発震時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度（和歌山県内のみ掲載）					
2024年05月03日09時10分	和歌山県北部	33° 48.4' N	135° 21.1' E	46km	M3.8
和歌山県 震度 2： みなべ町芝＊, 田辺市中屋敷町＊, 白浜町日置＊					
震度 1： 和歌山市一番丁＊, 海南市下津＊, 有田市初島町＊, 御坊市菌, 御坊市湯川＊, かつらぎ町花園梁瀬＊, 湯浅町青木＊, 和歌山美浜町和田＊, 和歌山日高町高家＊ 由良町里＊, みなべ町土井, 日高川町土生＊, 紀美野町下佐々＊, 有田川町清水＊, 田辺市中辺路町近露, 田辺市中辺路町栗栖川＊, 田辺市本宮町本宮＊, 田辺市鮎川＊, 田辺市龍神村西＊, 白浜町消防本部, 上富田町朝来＊, すさみ町周参見＊					
2024年05月16日09時48分	紀伊水道	33° 44.1' N	135° 02.9' E	38km	M3.1
和歌山県 震度 1： 御坊市菌, 御坊市湯川＊, 日高川町土生＊					
2024年05月27日02時04分	和歌山県北部	34° 05.0' N	135° 23.1' E	5km	M2.2
和歌山県 震度 1： 有田川町清水＊					

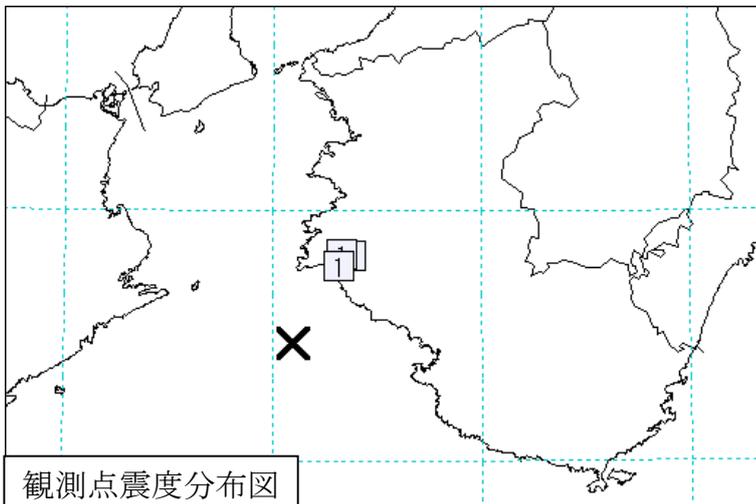
地点名の最後に＊のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【震度分布図】

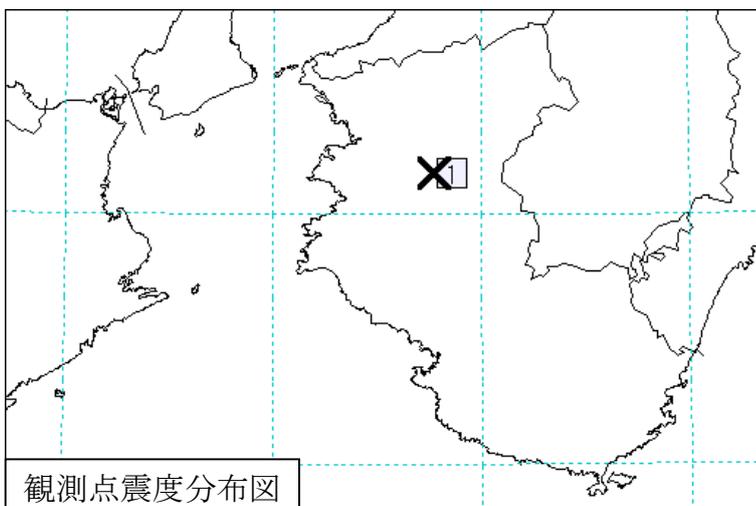
2024年05月03日09時10分 和歌山県北部の地震（深さ46km、M3.8）



2024年05月16日09時48分 紀伊水道の地震（深さ38km、M3.1）



2024年05月27日02時04分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M2.2）



2. 地震一口メモ

津波避難

夏は、海のレジャーを楽しむ方が多くなる季節です。海のレジャーでは、水難事故に気をつけることはもちろんですが、津波から身を守るために大津波警報・津波警報・津波注意報（以下、津波警報等）が発表された場合のとるべき行動を知っておくことも大切です。

1. ハザードマップの確認

津波被害や津波による浸水のおそれがある自治体では、津波浸水想定や津波避難場所を示したハザードマップを作成しています。

自宅、学校、職場周辺、旅行先等、津波に襲われるおそれのある場所や避難場所をハザードマップで確認しておきましょう。避難場所は、1か所だけでなく、さらに高い所も調べておきましょう。



津波避難場所



津波避難ビル



避難場所

2. 大津波警報・津波警報・津波注意報と取るべき行動

気象庁は、津波災害が予想される場合、津波警報等を発表します。津波警報等が発表されたら、以下の表の取るべき行動に従い、速やかに避難してください。

また、海の近くにいるときに強い揺れを感じたり、弱くても長い揺れを感じたりしたときは、津波警報等の発表を待たずに、すぐに避難を開始しましょう。

津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報等が解除されるまで気を緩めず避難を続けてください。津波警報等が発表されている間は、絶対に戻ってはいけません。

種類	取るべき行動
大津波警報	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波警報	
津波注意報	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

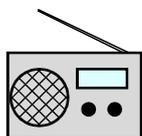
3. 津波警報等を知る手段

津波警報等の発表は、テレビ、ラジオ、防災行政無線、サイレン、携帯電話等で知ることができます。

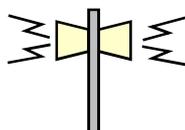
また、「津波フラッグ」を導入している海水浴場では、旗を振ったり、揚げたりして津波警報等が発表されたことをお知らせします。



テレビ



ラジオ



防災行政無線等



携帯電話



津波フラッグ